

## ■ シャンソン邦題創作物語～ピアノの歌から Part.1 ある美人の悲劇

Junko Higasa

ダニーは有頂天だった。自分のような平凡な男にもとうとう春がやってきた。しかも飛び切りすばらしい春が。こともあろうにあのミス・シャンパーニュと結婚できるなんて。彼はこの数日間「暖かくなったせいで、人間のハードディスクもイカれたか」と囁かれるほど、自分でもおかしいほどにウキウキしていた。普段無口な彼が、花屋の女の子に自分から冗談を言うほど、言い知れぬしあわせを感じていた。彼は静かな性格だったため、積極的に女性と出かける機会もあまりなかったが、実にまじめに良く働いた。周りからは「あの二人タイプが違うから合うわけないよ」「おとなしい夫だから平凡でも幸せに暮らせるんじゃない？」と賛否両論あったが、まもなく二人はパリのノートルダム教会で挙式した。

夫となった彼は見かけによらず芸術には造詣が深く、音楽も絵画も良く知っていて、ピアノを弾く男だった。セリーヌは驚いた。確かに結婚前に訪れた彼の家には古いピアノがあったが、彼自身が弾くとは思っていなかった。そんな彼の一面を知って彼女は少し安心した。「人にはいろいろな面があるわ。彼は優しいし、何でも話し合っていけばきっとうまくいくわ」そう思いながら、彼女は今まできた道を振り返っていた。「あなたはきれいね、わかっているでしょう」そう言われながら、後に続く言葉は「いいわね、美人は得で」「多くの人に注目されて大変ね」「美人を武器に人を泣かせたらダメよ」と様々だった。もちろん自分自身、常に「美しい」といわれ続ける環境の中で、自然に自問自答しながら「私はどうするか知っている」と自分により良く生きる道を課してきた。だがその中で「言い寄る男が多いけれど、良く考えなければダメよ。美しい恋の物語を夢見てはダメ。あなたを愛するのは素晴らしいと思えるような相手でなくては。私の友達ルシアンのような家庭を持ったらダメ」という友人の言葉が心のどこかにひっかかっていた。彼女の友達夫婦共に華やかでモテるタイプ。結婚当初は誰もが羨むカップルだったが、次第にその華やかタイプの違いと「生活感のなさ」から互いに恋人を作って別れてしまった。そんな話を聞いていたせいか、彼女は平凡だが一生懸命働くまじめな彼を結婚相手として選んだのだった。「二人で生活する」って大事なもの。

さて、平穏な日々が3ヶ月も過ぎた頃、彼女はふとある事が気になった。昼間、窓の外を見ると、時折小さな男が見え隠れする。最初は気にも留めなかったが、そんな日が何日も続いた。彼女がついにたまりかねて夫に話そうと決心した夜、夫が帰宅したその瞬間、それを待っていたかのように夫の背後からあの男が家に入ってきた。見るとさらに3人の男が後ろに立っていた。その男たちは有無を言わず夫を連れていった。彼女は声も出せずに佇んでいた。そして彼女が自分を取り戻したとき、ひとりそこに残っていたその男は口を開いた。「お気の毒ですが、マダム。彼は以前勤めていた会社の金を10億も使い込んでいて、追っていたんです。ミス・シャンパーニュと結婚したことが愚かでした。結婚式が載った地方紙を見つけて、こうして居場所が判ったんです」窓の外でこちらを伺っていた彼は刑事だったのだ。彼女は自分の人生に起こったことが信じられず大きなショックを受けた。

それから彼女は立ち直るために、シスター・アンヌの元へ通う日々を送っていた。そんなある日、道で偶然声を掛けられた。「僕のこと覚えている？」「どうしたのジョン？」確か彼は軍の任務についているはずだった。「先日帰還してね。これからは本部勤務さ。当分この町に落ち着くことになりそうだ」。彼女の心に何故か安らぎが訪れた。名うてのブレイボーイだった彼は刑事にではなく女性軍団に追われる男だった。それだけに彼女は用心して敬遠してきた。それなのに傷ついた彼女は急速に彼の愛の言葉の虜になってしまった。だがしかし彼に嘘はなかった。思えば彼もハンサムゆえの苦労があったのかもしれない。そして自分はそれを誤解していたのかもしれない。彼とは朝から晩まで一緒にいても苦にならない。彼女はようやく「私が愛するひと、それはあなたよ」と言える人と暮らし始めた。(2004. 4.3)

## シャンソン邦題創作物語～ピアフの歌から Part.1「ある美人の悲劇」 解答篇

- 1) ダニー
- 2) 平凡な男
- 3) とうとう春が
- 4) 結婚
- 5) 女の子
- 6) しあわせ
- 7) パリのノートルダム
- 8) ピアノを弾く男
- 9) セリーヌ
- 10) 古いピアノ
- 11) あなたはきれいね、わかってるでしょう
- 12) 私はどうするか知っている
- 13) 美しい恋の物語
- 14) あなたを愛するのは素晴らしい
- 15) 私の友達ルシアン
- 16) 小さな男
- 17) シスター・アンヌ
- 18) どうしたのジョン？
- 19) 帰還
- 20) プレイボーイ
- 21) 追われる男
- 22) 愛の言葉
- 23) だがしかし
- 24) 朝から晩まで
- 25) 私が愛するひと
- 26) それはあなたよ